



週報

入間ロータリークラブ

2023-2024 RI 会長:ゴードン R. マッキンナリー RI2570 地区ガバナー高丹秀篤 会長:木下登 幹事:間野尚

29号 3329回例会 2024年 4月 4日(木)

<ビジター・ゲスト>

所沢中央ロータリークラブ

(株)いわさき 代表取締役 岩崎 弘祐 様



他ロータリの方々とお会いして例会の雰囲気に触れますと随分と違って大変ためになります。これからも宜しくお願いします。

米山記念奨学生

ヤン・ユジン 様



お久しぶりです。韓国から帰ってきました。最近就活頑張っていますが、結果がそれ程でも無いのでお声掛けをお願いします。

🌸 会長の時間 🌸 木下登会長

本日は創立後 50 年から 55 年までの入間ロータリークラブの歩みを話します。

第 51 代細淵克則会長年度は、入間ロータリークラブ 50 周年式典を、11 月 26 日池袋メトロポリタンホテルにて開催し、来賓に加藤玄静ガバナー・木下博入間市長・スポンサークラブの大宮 RC 川島利雄会長・金浦 RC 金萬哲会長、他 150 名の参加で式典・晚餐会を盛大に行いました。また、入間市に LED 防犯灯 3 年間にわたり、120 基寄贈いたしました。

第 52 代山岸義弘会長年度は、平岡勲一郎エレクトが身体の都合上、次年度会長を辞退され、急遽・2010 年～2011 年度会長をさせて頂きました。当時の思い出は、東日本大震災と、当クラブのチャーターメンバー第 6 代杉山定太郎会長の、百歳を祝う会の例会でした。

東日本大震災は、大津波、原子力発電所の破壊等、歴史に、後世に、残る大きな自然災害であります。



震災後の計画停電も終了して、世間も平静を少し取り戻した 5 月 26 日に、丸広百貨店さくら草ホールにて、木下入間市長、中島毅入間南 RC 会長、杉山チェン製作所杉山慎一郎会長を、ゲストにお迎えして、「杉山定太郎会員の、百歳を祝う会」、例会を盛大に、開催することが出来ました。

第 53 代宮寺成人会長年度は、年間を通じて、週報の一面に「東日本大震災のコーナー」を設け、現地の情報を載せ、車いすの寄付等、支援事業も行いました。例会では、齋藤金作会員を講師に、「クラブ創設に至る創始者の生き様」をテーマにして、ポールハリスが小学校から大学卒業するまで、何度も放校になり、その理由が 3 歳の時、両親が破産して、二人の兄弟は両親と暮らし、ポールだけ祖父母に預けられた事によるものであり、ロータリーの創設者のやるせない幼少期の話に、会員全員が心を打たれました。

第 54 代吉永章子会長年度には、国際ロータリー会長に、日本で 3 人目の田中作次氏が、就任いたしました。2570 地区 IM は、入間クラブ平岡達也ガバナー補佐・水村雅啓実行委員長で、入間市産業文化センターにて盛大に開催されました。そして、親睦会員旅行は、サミット開催地である、伊勢志摩観光グルメ旅行で、アワビのステーキや、和田金の松阪牛を堪能しながら、家族と共に楽しい時を、過ごす事が出来ました。

第 55 代友野政彦会長年度は、社会奉仕事業としては前年に就任された、田中龍夫市長のお考えもあり、産業文化センター図書館の外壁に、防犯カメラを設置いたしました。職業奉仕事業として 2 月 27 日には武蔵野音楽大楽器博物館にて、貴重な歴史ある楽器を、拝観してきました。

<幹事報告>

間野尚幹事

<協議事項>

1. 4. 5. 6 月のプログラム

<報告・予定等>

- ①4/7(日) 米山カウンセラーオリエンテーション 一柳会員、ユジンさん出席
- ②4/11~12(木・金) 日光へ親睦旅行
- ③4/13(土) ファシリテーター養成セミナー 津藤会員出席
- ④4/21(日) 地区研修・協議会 次年度役員出席
ものづくり大学 埼玉県行田市
- ⑤4/23(火) 入間 RC. 入間南 RC 合同例会
プリーツドットアイ・ゴルフ会
- ⑥4/24(水) 現・新理事会 ナポリのかまど
18:00~
- ⑦4/27(土) 米山春季例祭 山根会員確認
- ⑧5/15(水) 子ども家庭支援チャリティーゴルフ大会(熊谷籠原 RC 主催) 出席される方は事務局までお願いします
- ⑨5/16(木) 座禅例会、長徳寺で開催
- ⑩5/18(土) ロータリーの森 奉仕活動 一柳会員、ユジンさん出席
- ⑪5/18(土) 台湾囲碁大会 欠席
- ⑫5/19(日) ロータリー希望の風ノスタルジックカーフェスタ開催。
- ⑬5/20(月) 4クラブ合同懇親会
木下会長、間野幹事出席
- ⑭5/24~28(金) ロータリー国際大会シンガポール。入間 RC 4名出席
- ⑮5/12(水) 第5回会長幹事会 木下会長、間野幹事、宮崎会員、田中会員出席
- ⑯6/29(土) 年度末地区役員合同会議
紫雲閣 入間 RC 該当者 10名



●委員長報告

[親睦活動委員会]

細田浩司委員長

親睦旅行に参加される方よろしくお願ひします。服装はジャケットを用意してください。明日のお菓子詰め合わせ、ご都合良ければお手伝い下さい。
ユジンさん銀行、証券会社を就職希望していますのでお知り合いに声掛けください。



[青少年奉仕委員会]

杉田宏充委員長

フードバンクから連絡があり、また使い道がミルク募金に戻りましたのでよろしくお願ひしますとのこと。



<ニコニコBOX>

白幡英悟 S A A

- ☀ 孫鷹一郎、希望大学に入学でき、元気に通学始めました。
「岩崎茂君」
- ☀ 長女が管理栄養士の試験に合格しました。
4月から愛知県で一人暮らしです。
「馬路宏樹君」
- ☀ 所沢 RC 岩崎様ようこそ入間クラブへ。
「豊田義継君、細田浩司君」
- ☀ 岩崎会員、一柳会員、本日の卓話宜しくお願ひします。
「木下登君、間野尚君、宮崎正文君、白幡英悟君、晝間和弘君、津藤淳也君」
- ☀ 欠席すみません。
「駒形一人君」

本日¥52,000

累計¥993,000

<今月のお祝い>

会員誕生日	奥富茂生君	
婦人誕生日	豊田恵子様	新井馨様
	細田佳恵様	宮崎洋子様
結婚記念日	友野政彦君	晝間和弘君

<出席報告>

晝間和弘会員

会員数	出席数	出席率	前回修正率
38名	24名	69.4%	-----

事前欠席連絡 4名

◎宮崎正文エレクト



先日の30日土曜日にPETSに行ってきました。あと三ヶ月で自分の代になります。忙しさと緊張で会長となる様な気がしますが、これからさらにお願ひすることが多くありますが、ご協力宜しくお願ひ致します。

■回覧、配布物

- ① ガバナー月信 3月号
- ② 能登半島募金お礼
- ③ 5/19 ロータリー希望の風開催案内
- ④ ロータリーフェローシップの候補者募集
- ⑤ ハイライトよねやま Vol. 288
- ⑥ 米山梅吉館報 Vol. 43
- ⑦ 米山梅吉春季例祭
- ⑧ 7/27 IFMR ジャパン大会のご案内
- ⑨ 環境月間のご案内
- ⑩ フードバンクいるま寄贈品受領書
- ⑪ 座禅例会のお知らせと出席表
- ⑫ 他クラブお知らせ&週報
- ⑬ 4. 5. 6 月例会予定表
- ⑭ 入間クラブ週報 28号

❀ 会員卓話「我等の生業」 ❀

❀ 岩崎茂会員 ❀



創業は昭和 7 年のこと。当時の日本の経済社会の情勢は、すべてが最悪の極。これが発端となり、中国大陸侵攻そして太平洋に突入の道へと突き進んだ。国民の生活は貧困の一途で、東北農村部では娘を売る時代。

当岩崎では家業の雛人形造りの職人家庭により、日々の食にも困る生活。それを脱するため、知人の推めで「葬儀屋」を兼業として出発。そのため青年廣太郎(22 歳・独身・後年入間ロータリークラブのメンバー)は、東村山町の長坂葬祭に弟子入り修業の後、豊岡町一丁目で岩崎葬具店の看板を掲げ開業す。その開業の年の一年間の売上額は 27 円 50 銭であったという。

昭和 18 年から 20 年の終戦までの間、父廣太郎出徒のため母アキが女手一つで葬儀屋を切り葬典の配達、祭壇の飾りつけなどをすべて一人でこなす。奮闘ぶりで家業、家庭を支えた。(茂 4 歳から 6 歳の時に)

県立豊岡実業を卒業した私は、即家業の手伝いに入るが、葬儀屋にコンプレックスを持っていた私は 3 ヶ月で家業を離れ当時の武蔵野町役場に奉職した。正味三ヶ年の勤務で 2 ヶ年間を広報係に籍を置いた為、原稿づくり、書籍出版、広告チラシ作成などが、後年の経営に役立つ基礎を学ぶことができた。その時々との与えられた仕事を一生懸命になって立ち向かうことが後年に役立つことを体験させて頂いた。

父親の病気入院を機に家業に戻ってみると役場勤めと事業経営の違い「面白さの差」を実感し仕事に熱を入れるようになった。当時の葬儀の仕事は全てが「待ち仕事」であった。現在では葬儀も①事前相談会②生前予約制③会員募集の積極営業など。この 30 年ほど前より大きく様変わりしていますが。若者が自己の意志で積極的な仕事のできない不満は、気分が落ち込み、やる気を失くす。私のその状況を見た母の励ましの言葉は「尺蠖は伸びるがために縮むなり」仕事が途切れた時は次の成長する時の為の勉強、準備に使う時間と心得ること。この教えは私の生涯の金言として、子孫にまで伝わるよう事あるたびに話して聞かせているものです。

豊岡の商店街が元気であった昭和 40 年代から 50 年代はじめ、商店街の旦那衆が指導してくれた。その教訓的な言葉に「同業者との情報交換は近隣はダメ全国規模の範囲から情報を採れ」これを機に全国の情報ネットワークの仲間入りができた。これは私の財産であり、それ以上に現社長にもそれに繋がって、大いに成長に役立っている。正に旦那衆によって育てていただいた。

事例の忘れがたいものの一つであります。ロータリーには新狭山チャーターメンバーとして 1987 年に入会。当時初の夜間例会のクラブに父親の励めで入会した。

新狭山 RC では 45 歳という年齢のこともあり、クラブメンバーから多くのことを教えられた。その中で①葬祭業は究極のサービス業だ。クラブ会員の葬儀の手伝いの最中に当メンバーからその仕事ぶりを見て評価して頂けたことの喜びから、仕事への情熱が倍増し、その後につなげることができたと感謝しています。②事業意欲が高まり「高齢者福祉事業への進出」と実力不相応なことに手を出した。新狭山北口のショッピングセンターの跡地に高齢者福祉施設建設のために、その土地の取得を計画。そのお願いをロータリーメンバーの不動産会社に依頼。結果はその土地取得は成就せず。「岩崎は今、熱に浮かれているように事業を進めようとしているが、余りにも経営経験がなさ過ぎる無謀な挑戦だ。失敗したら本業を根本から潰してしまうことが目に見えてる」結果その用地は全く交渉せずだったと。それがロータリーの友情であったことを後年になって知らされた。

葬儀の仕事にはそれに携わった担当者の人生に影響を及ぼす程の素晴らしい教訓とも言える要素があることを幾度が経験した。その一つをご紹介します。それは 80 歳代の市井のご老人。所沢市狭山ヶ丘の新興住宅地に住まわれていた方が亡くなられた時。東京電力創生期に山岳地帯への送電線布設の為の鉄塔建設工事。その仕事責任者であったこの人は、現在のように重機やヘリコプターのない時代に鋼材を人力によって担いで山頂まで運び上げ、あのとてつもない大きく高さのある鉄塔を完成させたのだと云う。通夜弔問の方がその時代の仕事の苛酷さを話されていた。想像を絶する仕事ぶりがあった、今日の東京電力の基礎が作られたことを。そしてリーダーたる者、まずはどんな危険を伴う苛酷な状況下であっても自ら率先して部下を奮い立たせることを忘れてはならない。私はこの時代の故人様のエピソードから以上のような人生訓を学ばせて頂く事が出来た。

今、時代の大きな転換期、変革期であります。多くの経営者が経営に悩みを抱えられ、将来への決断を迫られています。私共の葬祭事業も「葬儀消滅の時代に突入」と大きな危機感の中にあります。しかし良く云われる言葉に「時代変革の時こそ新しいビジネスチャンスがある」私はこの言葉を信じ、あと 8 年で創業 100 年を迎える私共、株式会社いわさきが次の 100 年を視野に入れてどう変革していくか。現在の経営者と若い社員の方々の活躍を大いに期待しながらワクワクした毎日を過ごさせて頂いております。

❖一柳達朗会員❖

株式会社イチヤナギは今年創業93周年、この4月から94年目をスタートしています。設立は昭和23年で今季77期になります。弊社は自動車やトラックなどのエンジン部品であるナットを熱間鍛造という製法で製造しています。また弊社オリジナル製品であるゆるみ止めナットの「スカートナット」「SKロックナット」も手掛けております。



沿革ですが、昭和6年に祖父の一柳乙蔵が都内の月島で創業して、昭和35年にここ入間市の土地を買い工場を建設し仕事を始めました。田中龍夫前入間市長は工業団地横の武蔵中学校の出身ですが、中学生の時に部活で「一柳鉄工さんの周りをランニングしていたから当時からイチヤナギさんの事は知っていたよ」と話を聞いた時は嬉しかったです。昭和58年に父の一柳芳彦が社長に就任し、平成5年に社名を一柳鉄工株式会社から株式会社イチヤナギに変更。平成6年に彩の国指定工場県内第一号を頂きました。そしてリーマンショック後の平成22年に私が代表を引き継ぎました。翌年に創業80周年を迎え、社内旅行等を計画していましたが、その年に東日本大震災が発生し、それどころでは無くなりました。その後、工場内をLED化、事務所の新設、検査室の新設、工場内のレイアウト変更など行いました。令和3年には創業90周年を迎えるにあたり今回は何かしようと考えていましたら、前年に新型コロナウイルス感染症が拡大し、又も見送り…。記念行事は出来ませんでしたが、皆様との懸け橋（懸け箸）を大事にしたい思いで記念品として伝統工芸品の「高級 輪島塗のお箸」を2種類作りました。皆様にもお配りさせて頂きました。100周年の時には何も無い事を願うばかりです。

弊社は総務部、営業部、製造部、管理部の4部門に分かれ工場長はいません。各部からの情報が素早く上がってくることを目的としています。工場内に目を向けると設備はナットを鍛造する機械を3台保有し、その他NC機械や焼き戻し炉もあります。熱間鍛造は丸棒鋼材をヒーターで1250℃まで熱し高速切断し「切断→予備成型→本成型→穴抜き」の4工程で品物は作られます。比較的大型のナットを製造しています（M16～M42）。色々な形の製品を製造しています。

弊社オリジナルのゆるみ止めナット「スカートナット」は、緩んではいけない箇所に使用され、主にJR東日本の東北新幹線のレールを締結させるナットとして使用され九州新幹線のレールにも使用されています。



弊社では毎年「経営計画発表会」を4月に実施し、一年間の方針や表彰等を行っております。当社の社訓と経営理念そして行動指針を紹介したいと思います。

<社訓>

・誠実 素直な心と前向きな姿勢。・感動 感即動、感動を伴った仕事。・感謝 心をこめて「有難う」。

<経営理念>

「社会に役立つ「本物」を提供する」

1. 社員一人一人が優れた能力とプロ意識と責任を持ち、優れた品質と独自性を発揮します。
2. お客様の立場に立って、柔軟に対応できる会社であり社員でありたい。奇をてらうことはせず、信頼感を大切にします。
3. そして世間からいい会社だ、いい社員だと言われ、ここで働いていて良かった、と働く喜びを実感できる会社になるよう、全員一丸となって努力します。

<行動指針>

1. 先を読んだ行動
2. すぐ実行
3. スピード
4. 必ず確認、報告
5. 答えは現場に
6. 協力し合う
7. プラス思考
8. 元気良く挨拶

社内の改善活動や福利厚生。

先ずは工場内のラック化です。今までは製品箱を3段に重ねて積んでいましたが、クレーンで1つ1つ吊るして移動させなくてはならず、一番下の製品箱を取るのも時間が掛かっていました。これをラック化する事、リーチフォークリフトを導入する事により製品箱の積み替え作業が無くなり製品箱のスムーズな取り出しができ、何処に何が有るかも明確になりました。新事務所の隣に新検査室を建設する事により工場内にあった4か所の検査場所を1つに集約する事ができ、品物の移動と入替作業時間の削減や製品検査の進捗状況の把握、パートさんの管理等が1か所で行え無駄な動きが無くなりました。続いて、工場内のレイアウト変更をして製品と人の流れをスムーズにする為に機械の集約や方向の統一、業者さんを入れて綺麗に塗床塗装をしたことにより製品、人、フォークリフトなどがスムーズに移動でき仕事の進捗や物の移動、削減にもなりました。見栄えも良くなりました。



福利厚生の1つとして、毎月月初めの全体朝礼ではその月の誕生日の人にスパークリングワインをプレゼントしています。これは入間RCからヒントを得ました。3か月に一度職場の懇親会を開いても良いとしており、1人2,000円の補助を出しています。またコロナ禍ではマスク1箱(50枚)と消毒液1本を配りました。100年企業に向けこれからも頑張っ参ります。

発行 入間ロータリークラブ

■事務所：〒358-0005 入間市宮前町1-10 繁田醤油(株)内 Tel. 04-2964-1700 Fax. 04-2965-5788

■Email：iruma-rc@jupiter.plala.or.jp

■例会場：丸広百貨店入間店6Fバンケットホール Tel. 04-2963-1111

■例会日：木曜日 12:30～13:30 ■会報委員長：繁田光

